

災害時の断水するとき、手を洗えない。トイレが流せなくなる。懸念されるのは、ノロウイルス感染症だ。東日本大震災のとき、福島県郡山市の大規模避難所「ビッグパレットふくしま」で、嘔吐・下痢症の集団発生があった。国立感染症研究所の資料では、発災約1カ月後に発症者数のピークがあった。約2500人の大規模避難所のなかで212人が、ノロウイルスが原因と考えられる嘔吐・下痢症になった。

はじめは、どこからか避難所に持ちこまれ、人から人へ感染が広がったと推定された。主に排泄物が何らかの経路で手指に付着し、食品を介して口に入ったためと考えられる。

感染が広がりやすいのは、体内にノロウイルスが10〜100個入っただけで、発症する可能性があることだ。ちなみに、ノロウイルス感染者の排泄物には10億個、吐物には100万個のウイルスがいる。対処をしなければ、避難所のなかで容易に感染が広がってしまうのだ。

ビッグパレットふくしまの例では、感染の広がった状況の背景が挙げられている。  
・流行初期の各階は過密

状態であり、汚物や汚染物の処理が不適切だった。また、手指衛生が十分に遵守されていなかった。

・生活用水の大半は共用トイレの水道を利用して出たと考えられる報告があったが、当初はトイレ清

## 介護現場で役立つ 災害時の知識

オフィス環境未来塾 代表 中臣 昌広

次に、災害時の避難所・避難生活で、ノロウイルス感染症の予防方法を考える。

①手洗い・手指消毒  
基本は、トイレ使用後や調理前、食事前の石けんによる手洗いである。断水の場合、手指消毒で消毒用エタノールまたは

②手洗い方法の掲示  
手洗い順序の写真や絵を、手洗い場所に貼る。

③トイレの定期的清掃  
至急の再徹底が必要である。状況により、施設内

④避難スペース・レイアウト  
介護施設では、同部屋

## 健康・衛生管理に保健係配置を

### 第10回 避難所・避難生活とノロウイルス感染症

掃が不十分だった。塩化ベンザルコニウム液を乾燥してカーペットや毛布から粉じんが発生しやすいうえ、換気設備が不十分であり、効果的な換気を行うことが難しい状況だった。

塩化ベンザルコニウム液を同フロアで人が一緒にいる避難生活をする中で、健康把握がスムーズになる。環境の急激な変化の防止や、円滑なコミュニケーション・助け合いにつながる。

### 保健係の配置

⑤保健係の配置  
レイアウトのブロック

⑥厚労省「手洗い」

⑦トイレの定期的清掃

⑧状況により、施設内

⑨消毒用エタノール

⑩手洗いの重要性

⑪手指消毒、トイレ

⑫食品の再徹底が必要

⑬状況により、施設内

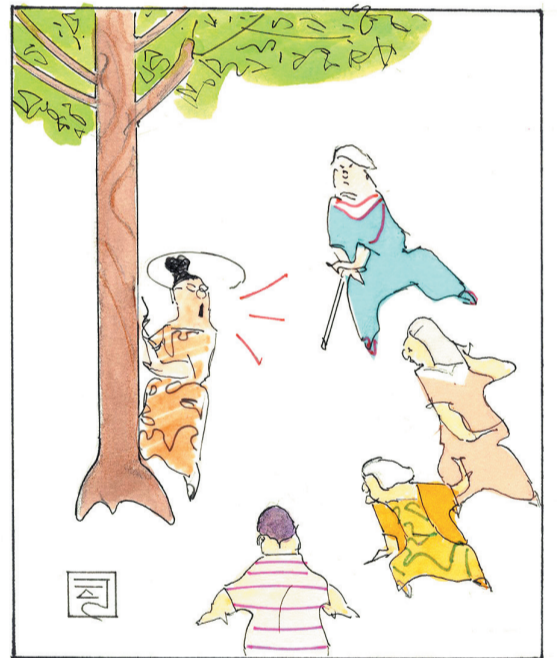
⑭消毒用エタノール

⑮手洗いの重要性

⑯手指消毒、トイレ

⑰食品の再徹底が必要

⑱状況により、施設内



みんなで遊ぼう  
ダルマサンがコロнда!

画・西澤勇司

の次亜塩素酸ナトリウム0.1%液による消毒をする。

ここからはQ&Aを

Q:ノロウイルスを詳しく教えてください

A:ノロウイルス感染症は、症状から感染性胃腸炎と呼ばれることがあります。ノロウイルスは、ヒトの小腸で増殖します。ノロウイルスによる食中毒は、年間を通じて見られ、冬場に多く発生する傾向があります。ウイルスそのものは、85〜90℃で90秒以上加熱すると感染力を失います。魚介類のカキの関与が指摘されています。

Q:手洗いで菌はなくなりますか?

A:私は、以前、石けんによる手洗い効果実験に参加したことがあります。手順は、次のとおりです。①蛍光塗料入りクリームを手に塗る。②いつものおりに石けんで手を洗う。③蛍光塗料を落とす。④手をすすぐ。⑤正しい手洗いの方法で再び手を洗い、拭く。⑥ブラックライトに手をかざし、洗い残しを確認する。

私は、正しい洗い方をすれば、手から菌がいなくなると思っています。ところが、入念に2回手洗いし、手にブラックライトを当てたとき、爪の脇や指の関節など洗い残しが光りました。すべての菌を除去するのは困難だと感じました。石けんによる手洗いで可能なかぎりの菌を除去して、リスクを下げるという意識をもつのが大切だと思っています。

症状は、潜伏期間24〜48時間で、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱です。

通常3日以内で回復しますが、感染しても全員が発症するわけではなく、発症しても風邪のような症状でも済む場合もあります。その場合でも、ウイルス保有の可能性があり、注意が必要です。ヒトの便に、1週間から1カ月間、ウイルスが含まれるといわれています。

Q:手洗いで菌はなくなりますか?

A:私は、以前、石けんによる手洗い効果実験に参加したことがあります。手順は、次のとおりです。①蛍光塗料入りクリームを手に塗る。②いつものおりに石けんで手を洗う。③蛍光塗料を落とす。④手をすすぐ。⑤正しい手洗いの方法で再び手を洗い、拭く。⑥ブラックライトに手をかざし、洗い残しを確認する。

私は、正しい洗い方をすれば、手から菌がいなくなると思っています。ところが、入念に2回手洗いし、手にブラックライトを当てたとき、爪の脇や指の関節など洗い残しが光りました。すべての菌を除去するのは困難だと感じました。石けんによる手洗いで可能なかぎりの菌を除去して、リスクを下げるという意識をもつのが大切だと思っています。



バケツにノロウイルス対処用品をまとめて入れておく

バケツにノロウイルス対処用品をまとめて入れておく

オフィス環境未来塾のホームページはこちら↓

